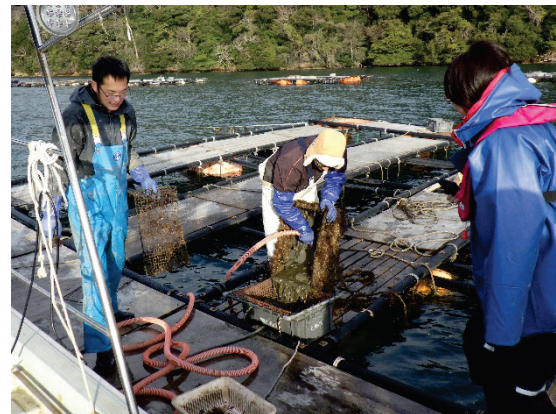


来所した岩手県職員との意見交換

1月28日～29日に岩手県水産技術センター職員が、本府のアサリ養殖視察のために来所されました。二日間にわたり、阿蘇海および舞鶴湾でアサリ養殖を営んでいる漁業者を訪問し、養殖現場を視察するとともに、当センター職員と意見交換しました。

岩手県では温暖化の影響により二枚貝養殖の生産が減少し、高水温に強いアサリを新規の養殖種として検討しているとのことでした。

海水温の上昇による水産物生産への影響は全国共通の課題であり、本府二枚貝養殖も例外ではありません。当センターでは、今後も同様の問題を抱える都道府県の研究者との情報交換を密にし、課題解決に努めていきます。



各湾でのアサリ養殖視察の様子(左:阿蘇海、右:舞鶴湾)